

## 名古屋市 障害者支援課主催 仕事の魅力発見プログラム

重度の身体障がいのある方や、その家族のみなさま、生活介護等の支援機関・医療機関のみなさま  
その他、在宅雇用に関心のある支援者機関や企業さま向け

# 『テレワークで働く魅力』

【在宅雇用で働く、重度の身体障がいのある方の声】

障害者となっても仕事と趣味を両立し、毎日楽しく働きたい(大分県：脳出血)／子供との時間を大切にしたい(愛知県：頸椎損傷)／人の役に立ちたい気持ちを働く原動力に(神奈川県：デュシェンヌ型筋ジストロフィー)／親父の働く姿(宮崎県：頸髄損傷)／仲間がいて働き続けられる仕事環境(茨城県：関節リウマチ)／未経験からのチャレンジ(三重県：先天性骨形成不全症)／私のパソコン操作の工夫(岐阜県：脳性麻痺)／人生の再出発点として(徳島県：上肢・下肢機能障害)／障害による転職で在宅勤務へ(宮崎県：小脳髄膜腫)／重度障害者でも不安なく働けます(東京都：脳性麻痺)／仕事ができる喜びを再び!!(岐阜県：脊髄血管障害)／治療をしながら仕事ができる環境です(新潟県：強直性脊椎炎・二次性線維筋痛症)／不安を乗り越えて(愛知県：骨形成不全症など)／新しいことへの挑戦(福島県：CRPS複合性局所疼痛症候群)／描き続けられる喜び(新潟県：左半身麻痺)／多方面からのサポートでどこからでも働けます!(新潟県：脳性麻痺)／挫折しかけた就職活動から(福島県：呼吸器機能障害・体幹機能障害など)／仕事と子育ての両立(愛知県：脳性麻痺)／パソコン初心者からのスタート(宮崎県：関節リウマチ)／遠隔OJTのおかげで社内MVPを授賞(埼玉県：頸髄損傷)／通勤から在宅勤務へ(神奈川県：先天性脊椎骨端異形成症)／孤立感はありません(北海道：脳性麻痺)／仕事とスポーツを両立しています(宮崎県：頸髄損傷)／体に無理のないペースで働ける(東京都：人工透析)

【クオールアシストさまHP掲載(アシストワークスタイル)より抜粋】

開催会場・日時

令和7年10月10日(金)13:00～ イーブルなごや3Fホール



第一部 「テレワークに関する障害者のニーズ等実態調査」より

JEED障害者職業総合センター上席研究員 伊藤さま

第二部 パネルディスカッション 裏面参照 ※希望者のみ後日動画配信有り



<https://logoform.jp/f/2ZyYg>

名古屋市に、テレワーク大手3社が集まることは、初めてです。だから、当事者やそのご家族、支援者(医療・福祉)関係者の皆様にぜひ知って欲しい

お申し込みはこちらから 9月30日(火)12時まで  
会場参加は先着順150名まで 動画配信のみの希望も可

お問合せ 名古屋市障害者支援課

TEL: 052-972-2613 担当いいだ

Mail: a2560-02@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

# パネラーご紹介

## 【OKIワークウエル】事業部長 加藤さま

OKIグループの障害者雇用を促進する特例子会社として2004年に誕生。OKIグループの企業理念である『OKIは進取の精神をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する』のもと、OKIワークウエルは、様々な新しいことにチャレンジしてきました。その一つが、重度障がい者の在宅雇用です。

## 【クオールアシスト】代表取締役 松原さま

クオール株式会社(現:クオールホールディングス株式会社)では、2008年以降、在宅を中心とした重度身体障害者の雇用を積極的に行ってきました。『働けない』から『働ける』へ…これをより促進・発展させるために2009年2月にクオールアシスト株式会社が設立され、同年3月に保険調剤薬局業界では初の特例子会社に認定されました。Web会議システムを用いてミーティングを行うことにより、社員同士での意思疎通を図り、通勤を必要としない職場環境を確立してきました。

## 【スタッフサービス・クラウドワーク】東海エリア統括 大崎さま

スタッフサービスグループの経営理念は『チャンス』です。重度障がい者にとって『通勤』は、移動の困難さだけでなく「身体への負担」「日中の通院・生活介護の時間確保」「職場のバリアフリー環境の未整備」が障壁となり、就労を阻んできました。通勤困難な重度身体障がい者の在宅雇用を専門的に推進するため、私たちスタッフサービス・クラウドワークは、スタッフサービス・ビジネスサポート(※)から2020年4月に分社・独立しました。2025年6月時点で在宅従業員は600名を超えています。 ※2000年には特例子会社として設立

3社に共通しているのが、ICT(情報通信技術)を活用することで、重度身体障がい者にとって最も安心安全な場所である「自宅」にしながら、仲間とコミュニケーションを取り、チームで業務を担う「職場」を創り上げ、就労機会を提供されていることです。

## 聞き手・進行 戸原一男さま

1998年より、東京コロニーIT事業本部 デジタルメディアセンター・職能開発室室長、アートビリティ代表兼任。株式会社モアデザインコーポレーション取締役兼ディレクターを経て2009年6月にKプランニングを起業。2022年4月一般社団法人はるはる福祉会を設立、代表理事。

著書に、「障害者の日常術(晶文社)」「障害者アートバンクの可能性(中央法規出版)」「ブレイブワーカーズ(岩波ブックセンター)」「SELP訪問ルポ(岩波ブックセンター)」「はるはる日記(Kプランニング)」等。